



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3341 URL http://www.nicho.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鎌田 良樹 TEL 03-6810-0800
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	103,596	7.9	2,039	△51.6	1,632	△57.1	△421	—
24年3月期第3四半期	95,990	15.9	4,217	33.8	3,809	34.4	1,710	44.1

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △352百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 1,730百万円 (43.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△58.58	—
24年3月期第3四半期	238.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	93,727	13,949	14.9	1,931.94
24年3月期	86,615	14,716	17.0	2,047.95

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 13,949百万円 24年3月期 14,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
25年3月期	—	35.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成25年3月期の期末配当予想額は未定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,605	7.4	3,132	△42.7	2,735	△44.7	206	△90.1	28.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	8,012,000株	24年3月期	8,012,000株
25年3月期3Q	791,344株	24年3月期	826,234株
25年3月期3Q	7,198,192株	24年3月期3Q	7,162,902株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料は、T D n e tにて2月4日に開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月～12月）における我が国の経済は、海外経済の減速や近隣諸国との摩擦を背景に、輸出・生産が弱含みで推移しました。今後は海外経済の回復、また新政権下での内需刺激策による好転が期待されます。医薬品・調剤薬局業界におきましては、昨年4月に薬価改定、調剤報酬改定が実施されました。薬価ベースでは△6.0%の引き下げとなり、調剤報酬については在宅薬剤関連業務とジェネリック医薬品の使用促進に対する重点配分が主な内容となりました。また診療報酬改定においても、医師が処方せんを発行する際に医薬品について薬価基準に記載されている品名ではなく一般的名称を記載する「一般名処方」の推進など、新たな施策が盛り込まれました。しかしながら、これらの制度改定による市場の変化はジェネリック医薬品使用の急激な増加、小規模薬局の経営環境悪化などを想定した当社の期待を下回るものになっております。

また当社は、東京国税局より平成21年3月期から平成24年3月期までの課税年度の法人税等について税務調査を受け、主に関係会社との間の研究開発費用負担及び貸付金利息免除等について指摘を受けた結果、過年度法人税等1,034百万円を計上しております。税務当局からの指摘につきましては、見解の相違に起因するものであります。なお、金額につきましては、当社が現段階で試算した見積計上額であります。

このような状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高103,596百万円（前年同期比7.9%増）と増収となりました。利益面においては、営業利益2,039百万円（同51.6%減）、経常利益1,632百万円（同57.1%減）、四半期純損失421百万円（前年同期は四半期純利益1,710百万円）となりました。

事業の種類別業績概要は以下のとおりであります。

①調剤薬局事業

日本調剤株式会社及び子会社3社による同事業では、面対応薬局を主として積極的に出店を行いました。第3四半期連結累計期間において、北海道1店、茨城県1店、栃木県2店、埼玉県7店、千葉県3店、東京都16店、神奈川県14店、石川県1店、長野県1店、岐阜県2店、静岡県1店、愛知県1店、滋賀県1店、大阪府1店、兵庫県1店の計53店舗を新規出店いたしました。また東京都4店、大阪府1店及び島根県の1店を閉局いたしました。結果グループ総店舗数は日本調剤461店舗、子会社3店舗の464店舗となりました。同事業の業績動向としては、前年度閉局店舗の売上寄与により売上高97,521百万円（前年同期比7.0%増）と増収となりました。利益面においては各種経費の増加により、営業利益4,679百万円（同32.6%減）に留まりました。

②医薬品製造販売事業

ジェネリック医薬品の製造販売を行う日本ジェネリック株式会社による同事業では、医薬品卸各社との連携強化により当社グループ外の調剤薬局・医療機関向けの販売拡大施策を積極的に推進しております。当第3四半期連結累計期間におきましては、薬価改定による売上減少の一方、営業活動による拡販と、昨年6月、12月には新規収載品の発売を行っております。売上高は8,232百万円（前年同期比37.7%増）となりました。利益面においては営業利益212百万円（前年同期は410百万円の損失）となりました。

③医療従事者派遣・紹介事業

子会社の株式会社メディカルリソースでは、薬剤師の派遣紹介を中心に医師・看護師を含めた医療従事者総合人材サービス事業を運営しております。調剤薬局、ドラッグストアの出店攻勢に加え、在宅業務が昨春の診療報酬・調剤報酬改定により見直されたことから、医師・看護師・薬剤師の需要は一層高まっていく環境にあります。このような中、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,965百万円（前年同期比24.8%増）と増収となりました。利益面においては営業利益382百万円（同0.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は93,727百万円となり、前連結会計年度末に対して7,111百万円、8.2%増加いたしました。流動資産は41,568百万円となり、前連結会計年度末に対して5,024百万円、13.7%の増加となりました。主な要因としては、売掛金、商品及び製品の増加等であります。固定資産は52,158百万円となり、前連結会計年度末に対して2,087百万円、4.2%の増加となりました。

負債は79,777百万円となり前連結会計年度末に対して7,878百万円、11.0%の増加となりました。主な要因としては、借入金の増加等であります。

純資産は13,949百万円となり前連結会計年度末に対して766百万円、5.2%の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社では、平成24年10月26日に公表しました通期の連結業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、本日平成25年1月31日付で公表いたしました「過年度法人税等の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、経済的耐用年数を適用している一部の資産を除き、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ76百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,622	12,006
売掛金	12,868	14,262
商品及び製品	8,419	12,826
仕掛品	161	144
原材料及び貯蔵品	299	345
その他	2,183	1,992
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	36,543	41,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,062	12,924
土地	12,135	13,207
建設仮勘定	1,486	925
その他（純額）	5,110	5,526
有形固定資産合計	30,796	32,583
無形固定資産		
のれん	8,205	7,843
その他	1,639	1,740
無形固定資産合計	9,845	9,584
投資その他の資産		
投資有価証券	894	1,002
敷金及び保証金	6,579	6,780
その他	1,955	2,208
投資その他の資産合計	9,429	9,990
固定資産合計	50,071	52,158
資産合計	86,615	93,727

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,884	25,503
短期借入金	3,420	2,800
1年内返済予定の長期借入金	4,953	12,401
未払法人税等	1,735	1,351
賞与引当金	1,425	803
売上割戻引当金	154	222
その他	3,184	3,281
流動負債合計	36,757	46,364
固定負債		
社債	14,000	14,000
長期借入金	19,610	17,650
退職給付引当金	115	239
役員退職慰労引当金	611	662
その他	802	861
固定負債合計	35,141	33,413
負債合計	71,899	79,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	4,754	4,754
利益剰余金	8,233	7,308
自己株式	△2,378	△2,288
株主資本合計	14,562	13,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153	222
その他の包括利益累計額合計	153	222
純資産合計	14,716	13,949
負債純資産合計	86,615	93,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	95,990	103,596
売上原価	79,556	87,752
売上総利益	16,433	15,843
販売費及び一般管理費	12,215	13,803
営業利益	4,217	2,039
営業外収益		
受取賃貸料	70	56
その他	116	252
営業外収益合計	186	308
営業外費用		
支払利息	433	440
支払手数料	78	23
その他	82	251
営業外費用合計	595	715
経常利益	3,809	1,632
特別利益		
固定資産売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産売却損	—	0
減損損失	—	228
退職給付制度終了損	82	—
特別損失合計	82	228
税金等調整前四半期純利益	3,726	1,410
法人税、住民税及び事業税	1,699	707
過年度法人税等	—	1,034
法人税等調整額	316	90
法人税等合計	2,015	1,831
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,710	△421
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,710	△421

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,710	△421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	69
その他の包括利益合計	19	69
四半期包括利益	1,730	△352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,730	△352

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	91,177	2,900	1,912	95,990	—	95,990
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,077	464	3,542	△3,542	—
計	91,177	5,978	2,377	99,533	△3,542	95,990
セグメント利益又は損失(△)	6,938	△410	382	6,911	△2,693	4,217

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,693百万円にはセグメント間取引消去145百万円及び全社費用△2,838百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	97,521	3,811	2,263	103,596	—	103,596
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,421	702	5,124	△5,124	—
計	97,521	8,232	2,965	108,720	△5,124	103,596
セグメント利益又は損失(△)	4,679	212	382	5,274	△3,234	2,039

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△3,234百万円にはセグメント間取引消去△53百万円及び全社費用△3,181百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産（9店舗）の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、228百万円であります。